

まちづくりの提案

1. はじめに

私は今熊本市に住んでいます。市内を走る熊本電鉄は今年で創業 100 年を迎えるほど、古くから市民に親しまれています。しかし近年のモータリゼーションに伴い利用者は激減し、菊池という観光地にまでつながっていた路線は廃止され、電車に乗っても席はガラガラに空いているという悲しい状況になっています。現在は路線上に何も観光地がなく、市街地の一步手前で線路が終わっているという状態です。



熊本電鉄路線図

(終点駅 (藤崎宮駅) から徒歩 10 分くらいで繁華街がひろがる。)

2. 車より電車！

自家用車で移動するより電車を使って人が移動するほうが駅周辺に人が集まり、活気が出ると思います。さらに、車から電車への移行に伴い中心部の駐車場のスペースが必要なくなるので商業施設の誘致が期待できます。また、電車は車に比べ二酸化炭素排出量がすくないので地球温暖化の緩和が計れます。このように電車はいいことだらけです！

3. アイデア（車から電車に移行させるには）

昔、熊本電鉄では「ビール電車」なるものをイベントとして実施し、電車の中で飲み会を開いて市民の交流を図るようなものが多々あったようです。電車というひとつ屋根の下でみんなが一緒に交流し、ふれあうというのはとても楽しいことだと思います。それに比べて今は電車からマイカーに移行し、そういう人と人がふれあう機会というのが少なくなっている気がします。そこで電車を使って人がふれあう機会を提供できないだろうかと考えました。私は地下鉄に乗っているとよく本を読んでいる人をみかけます。そこでハッと思いついたのが「駅リトル図書館化計画」です。各駅に本棚を1つ設置して、そこに周辺住民が読み終わった本を持ちよります。電車を利用する人はその本を電車の中で読んでよくて、降りた駅の本棚に返します。その人は、また帰りにその本を手に電車で帰ることでしょう。「この本誰がもってきたのかなあ」「これもってきた人センスあるなあ」「これもってきたひとに会ってみたいなあ」などとみんなが思い、本を通して人がふれあえ、人々の足はマイカーから電車に移行します！！



昔のビール電車の様子